

公表	事業所における自己評価総括表
----	----------------

○事業所名	岬町立簡易心身障害児通園施設 こぐま園			
○保護者評価実施期間		2025年6月1日	～	2025年6月30日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	2	(回答者数)	2
○従業者評価実施期間		2025年8月1日	～	2025年8月31日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4	(回答者数)	4
○事業者向け自己評価表作成日		2025年11月30日		

○分析結果

	事業所強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	保護者との連携、情報共有 人的体制	登園時の母子保育や日々の療育の様子などを保護者に伝えることで、利用者の様子などを共有し保護者と支援や課題等についての相互理解が深まるようにしている。	定期的に個人懇談会や家庭訪問を行い、個別に保護者と利用者の様子を確認して相談に応じたり、病院（定期受診時等）に同行し、主治医から助言を受けるなど、保護者と利用者の支援についての共通理解ができるようにしている。
2	専門職との連携	発達相談員、機能訓練士などから定期的に個々の発達状況に応じた支援の方法や改善への助言を受ける。	専門員からの助言を受け、一人ひとりに必要な支援や援助を継続していくことで、できる動作や行動などが増え、個々の成長を促していく。
	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	施設の老朽化	施設の老朽化により見た目の古さなどを感じる。また外壁の隙間などから虫等が室内に侵入する。	建具や壁など、室内外で必要な箇所は改修を行い、環境整備を行う。
2	家族支援の充実	保護者や家族向けの研修が開催できていない。	家族向けの勉強会や保護者会の機会を設け、情報提供や保護者どうしの交流など家庭の支援を行う。